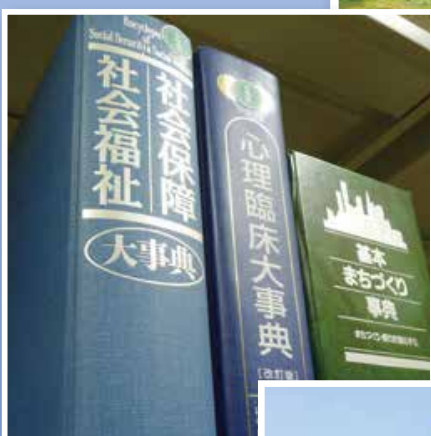


# 法政大学大学院 人間社会研究科



2019 法政大学

修士課程  
福祉社会専攻

修士課程  
臨床心理学専攻

公認心理師(国家資格)受験資格取得に要する科目を開講  
(財)日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院

博士後期課程  
人間福祉専攻

# “生きる”を学ぶ。あしたに挑む。


人間社会研究科では、人間の“生”(life)をトータルに捉えた教育研究によって、高度な専門能力、深く幅広い知識、そして豊かな人間性を養い、新たな福祉社会の担い手となるプロフェSSIONALの育成をめざします。

## 専任教員 人間社会研究科 (2018年度)




**水野 雅男** 教授 福祉社会 人間福祉  
 (みずの まさお)  
 人間社会研究科長  
 研究領域：都市住宅政策論、市民活動運営論  
 担当科目：「都市・住宅政策特論I」「福祉社会研究法」  
 「地域・文化系特殊講義I・II」  
 主な著書：『地方都市の再生戦略』(川上光彦編共著/学芸出版社)、『生活景』(日本建築学会編共著/学芸出版社)、『北陸におけるリゾート開発の可能性』(共著/NIRA研究叢書)、『農山漁村における都市内企業労働者のメンタルヘルス・プログラムの構築と評価手法の実証的な研究』(農林水産政策研究所レビュー第55号)他  
 学会活動：日本建築学会、日本都市計画学会、日本予防医学会


修士課程 **福祉社会専攻** 博士後期課程 **人間福祉専攻**  
 修士課程 **臨床心理学専攻**  
 公認心理師(国家資格)受験資格取得に要する科目を開講  
 (財)日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院




**石井 享子** 教授 (いしい ゆきこ) 福祉社会 人間福祉  
 研究領域：保健福祉学、公衆衛生学  
 担当科目：「ケアマネジメント特論」「福祉臨床系特殊講義I・II」  
 主な著書：『保健福祉学—利用者の立場に立った保健福祉サービスの展開』(共著、川島書店)、『保健福祉におけるトップマネジメント』(共著、中央法規)、『看護と介護—連携と協働への示唆』(単著、日本看護協会出版会)  
 学会活動：日本公衆衛生学会、米国老年科学学会、介護福祉教育学会、その他




**伊藤 正子** 教授 (いとう しょうこ) 福祉社会 人間福祉  
 研究領域：社会福祉方法論、医療福祉論、異なる民族・文化的背景をもつ人々への社会福祉援助  
 担当科目：「ソーシャルワーク理論特論」「福祉臨床系特殊講義I・II」  
 主な著書：『現場で働くケースワークの技—「バイステックの原則」を基に』(共著、現代書館)、『生活支援の福祉学』(共著、有斐閣)、『現代社会と福祉—社会福祉原論—』(共著、中央法規)  
 学会活動：日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、東京都医療社会事業協会、日本移民政策学会




**岩崎 晋也** 教授 (いわさき しんや) 福祉社会 人間福祉  
 研究領域：社会福祉原理、社会福祉思想  
 担当科目：「社会福祉学特論I」「福祉社会系特殊講義I・II」  
 主な著書：『援助するということ』(共著、有斐閣)、『社会福祉をつかむ』(共著、有斐閣)、『リーディングス日本の社会福祉1—社会福祉とはなにか』(編著、日本図書センター)  
 学会活動：日本社会福祉学会、社会政策学会、社会事業史学会




**岩田 美香** 教授 (いわた みか) 福祉社会 人間福祉  
 研究領域：児童・家族福祉論、教育福祉論  
 担当科目：「児童福祉特論」「福祉臨床系特殊講義I・II」  
 主な著書：『現代社会の育児不安』(単著、家政教育社)、『福祉国家と家族』(共著、法政大学出版局)、『社会的孤立問題への挑戦』(共著、法律文化社)、『現代社会と子どもの貧困』(共著、大月書店)、『スクールソーシャルワーカーの学校理解』(共著、ミネルヴァ書房)他  
 学会活動：日本社会福祉学会、日本学校ソーシャルワーク学会(代表理事)、日本家族社会学会、日本保健福祉学会(理事)、日本司法福祉学会等




**小野 純平** 教授 (おの じゅんぺい) 臨床心理学 人間福祉  
 研究領域：臨床心理学、発達臨床心理学、心理検査学  
 担当科目：「心理的アセスメントに関する理論と実践」  
 「臨床心理査定演習II」  
 「臨床心理系(病理・発達)特殊講義I・II」  
 主な著書：『子どもを理解する』(共著、へるす出版)、『臨床心理学30章』(共著、日本文化科学社)、『日本版KABC-IIマニュアル』(共著、丸善出版)、『リハビリテーション患者の心理とケア』(共著、医学書院)  
 学会活動：K-ABCアセスメント学会(副理事長)、日本心理臨床学会、日本内観学会(常任理事)、日本LD学会等




**金築 優** 准教授 (かねつき まさひろ) 臨床心理学 人間福祉  
 研究領域：臨床心理学、認知行動療法  
 担当科目：「臨床心理学特論」「心の健康教育に関する理論と実践」  
 「心理実践実習」「臨床心理実習II」  
 「臨床心理系(心理・地域)特殊講義I・II」  
 主な著書：『大学生の心配に対するメタ認知に焦点を当てた認知行動的介入の効果』(共著、感情心理学研究17(3))2010年、『感情への恐れとストレス反応の関連性—日本語版 Affective Control Scaleの作成を通して—』(共著、感情心理学研究18(1))2010年他  
 学会活動：日本認知・行動療法学会、日本感情心理学会、日本パーソナリティ学会、日本心理学会、日本心理臨床学会等




**久保田 幹子** 教授 (くぼた みきこ) 臨床心理学 人間福祉  
 研究領域：臨床心理学、心理療法(森田療法、カウンセリングなど)、心理査定  
 担当科目：「臨床心理基礎実習」「医学心理学特論」  
 「臨床心理系(病理・発達)特殊講義I・II」  
 主な著書：『臨床精神医学講座5—神経症性障害・ストレス関連障害』(共著、中山書店)、『心理療法ブライマーズ「森田療法」』(共著、ミネルヴァ出版)、『こころの医学事典』(共著、講談社)、『カウンセリングプロセスハンドブック』(共著、金子書房)他  
 学会活動：日本森田療法学会(常任理事、編集委員、研修委員)、日本サイコロシー学会(理事、編集委員)、日本心理臨床学会など



**佐藤 繭美** 教授 (さとう まゆみ) 福祉社会 人間福祉  
 研究領域：ソーシャルワーク論(特に終末期ケアを中心として)、当事者および家族への支援(セルフヘルプ・グループを中心として)  
 担当科目：「ソーシャルワーク特論II」「福祉社会研究法」  
 「福祉臨床系特殊講義I・II」  
 主な著書：『自閉症の人の死別経験とソーシャルワーク』(単著、明石書店)、『自閉症と発達障害研究の進歩2006 Vol.10』(共著、星和書店)  
 学会活動：日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、日本臨床死生学会等



**佐野 竜平** 准教授 (さの りゅうへい) 福祉社会  
 研究領域：国際協力、国際地域開発、障害と開発、東南アジア  
 担当科目：「海外社会福祉研究」  
 主な著書：『改正発達障害者支援法の解説—コラムおよび参考資料』  
 学会活動：全国社会就労センター協議会、JAPAN NGO Network on Disabilities Japan Dyslexia Society Southeast Asian Human Rights Studies Network



**眞保 智子** 教授 (まほ さとこ) 福祉社会 人間福祉  
 研究領域：若者支援論、人的資源管理論、障害者のキャリアデザイン  
 担当科目：「精神保健福祉特論」「福祉社会研究法」  
 「福祉社会系特殊講義I・II」  
 主な著書：『就労支援サービス』(共著、株式会社みらい)、『グローバル時代の社会学—社会学の視点で読み解く現代社会の様相—』(共著、株式会社みらい)、『キャリアデザイン支援ハンドブック』(共著、ナカニシヤ出版)、『障害者雇用の実務と就労支援「合理的配慮」のアプローチ』(単著、日本法令)  
 学会活動：日本労働学会、日本職業リハビリテーション学会、日本うつ病学会、日本キャリアデザイン学会




**末武 康弘** 教授 (すえたけ やすひろ) 臨床心理学 人間福祉

研究領域：臨床心理学、カウンセリング・心理療法  
 担当科目：「心理支援に関する理論と実践」「臨床心理面接特論Ⅱ」  
 「臨床心理基礎演習」「臨床心理学系(心理・地域)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：「ロジャーズ主要著作集(全3巻)」(共訳、岩崎学術出版社)、「エビデンスにもとづくカウンセリング効果の研究」(監訳、岩崎学術出版社)、「ジェントリン哲学入門」(共編著、コスモスライブラリー)、「主観性を科学化する」質的研究法入門」(共編著、金子書房)

学会活動：日本心理臨床学会、日本人間性心理学会、日本心理学会、World Association for Person-Centered and Experiential Psychotherapy and Counseling

博士(学術)


**関谷 秀子** 教授 (せきや ひでこ) 臨床心理学 人間福祉

研究領域：児童青年精神医学、精神分析学  
 担当科目：「保健医療分野に関する理論と支援の展開」  
 「力動的心理学特論」  
 「臨床心理学系(病理・発達)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

学会活動：精神分析学会(認定精神療法医、認定スーパーバイザー)、思春期青年期精神医学会(運営委員)、児童青年精神医学会(児童青年精神医学会認定医)、子どものこころ専門医、日本精神神経学会(専門医、指導医)、日本心理臨床学会等

医学博士


**土肥 将敦** 教授 (どい まさあつ) 福祉社会 人間福祉

研究領域：ソーシャル・イノベーション、社会的企業家、CSR、企業と社会  
 担当科目：「地域経営特論Ⅱ」「地域・政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：「ソーシャル・イノベーションの創出と普及」(共著、NTT出版)2013年、「ソーシャル・エンタプライズ論」(共著、有斐閣)、近刊、「ソーシャル・エンタプライズ:社会的企業の台頭」(共著、中央経済社)2006年、「CSR経営:企業の社会的責任とステイクホルダー」(共著、中央経済社)2006年

学会活動：組織学会、日本経営学会、社会・経済システム学会、企業と社会フォーラム(Japan Forum of Business and Society)

博士(商学)


**長山 恵一** 教授 (ながやま けいいち) 臨床心理学 人間福祉

研究領域：比較精神療法、精神医学  
 担当科目：「臨床心理学研究法特論」「比較心理療法特論」  
 「臨床心理学系(病理・発達)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：「Naikan Therapy—Techniques and principles for use in clinical practice—」(共著、大道学館)、「内観法—実践の仕組みと理論」(日本評論社)、「森田療法と精神分析的精神療法」(誠信書房)、「依存と自立の精神構造—清明心と型の深層心理」(法政大学出版局)、「心理療法の本質—内観療法を考える」(共著、評論社)

学会活動：日本内観学会(副理事長)、日本サイコセラピー学会(理事)、日本心理臨床学会連合(理事)

医学博士


**服部 環** 教授 (はっとり たまき) 臨床心理学 人間福祉

研究領域：教育心理測定学、心理データ解析  
 担当科目：「福祉社会特論Ⅱ」「データ分析法」  
 「臨床心理学系(心理・地域)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：「心理・教育のためのRによるデータ解析」(単著、福村出版)、「文系のためのSPSSデータ解析」(共著、ナカニヤ出版)、「「使える」教育心理学」(監修・共著、北樹出版)、「IQ&A心理データ解析」(共著、福村出版)

学会活動：日本教育心理学会、日本テスト学会(理事)、K-ABCアセスメント学会(常任理事)、日本心理学会、日本応用心理学会、日本行動計量学会

教育学博士


**宮城 孝** 教授 (みやしろ たかし) 福祉社会 人間福祉

研究領域：地域包括ケアシステム、コミュニティソーシャルワーク、地域福祉計画などの地域福祉方法論  
 担当科目：「地域福祉特論」「福祉社会研究法」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：「イギリスの社会福祉とボランティア・セクター」(中央法規)、「コミュニティソーシャルワーク」(編著、有斐閣)、「新版地域福祉事典」(編集幹事、中央法規)、「地域福祉と民間非営利セクター」(編著、中央法規)、「ソーシャルワークと社会開発—開発的ソーシャルワークの理論とスキル」(監訳、丸善出版)他

学会活動：日本地域福祉学会(副会長)、日本社会福祉学会

博士(社会福祉学)


**保井 美樹** 教授 (やすい みき) 福祉社会 人間福祉

研究領域：都市・地域計画論、計画行政、自治システム研究  
 担当科目：「地方自治特論Ⅱ」「地域・政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：「エリアマネジメント」(小林重敬編著、学芸出版社)、「地域は消えない」(岡崎昌之編著、日本経済評論社)、「都市再生のデザイナー—快適・安全の空間形成」(水西隆他編著、有斐閣)、「大都市圏再編への構想」(小玉徹編著、東京大学出版会)

学会活動：日本都市計画学会、日本計画行政学会、American Planning Association、Association of European Schools of Planning

博士(工学)


**関司 直也** 教授 (ずし なおや) 福祉社会 人間福祉

研究領域：農業経済学、農山村政策論、地域心理面接特論Ⅱ  
 担当科目：「地域空間学特論Ⅰ」「福祉社会研究法」「地域・政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：「地域サポート人材による農山村再生」(筑波書房)、「人口減少時代の地域づくり読本」(共著、公職研)、「田園回帰の過去・現在・未来—移住者と創る新しい農山村」(共著、農文協)、「農山村再生に挑む」(共著、岩波書店)他

博士(農学)

学会活動：日本農業経済学会、政治経済学・経済史学会、農業問題研究学会、農村計画学会、日本村落研究学会


**高取 康之** 教授 (たかとり やすゆき) 福祉社会

研究領域：異文化コミュニケーション、英語教育、経営学(マーケティング)  
 担当科目：「原書講読研究」

学会活動：英米文化学会

博士(文学)


**中村 律子** 教授 (なかむら りつこ) 福祉社会 人間福祉

研究領域：高齢者福祉論、高齢者福祉制度の比較研究  
 担当科目：※2018年度はサバティカル(研究専念年度)です。

主な著書：「ネバールの高齢者福祉制度と“sewa(世話)”という規範」荒木誠之他編「社会保障法・福祉と労働法の新展開」(295-312)信山社、「実践としてのコミュニティ・移動・国家・運動」共著、京都大学出版会

学会活動：日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、日本社会学会

博士(文学)


**丹羽 郁夫** 教授 (にわい くお) 臨床心理学 人間福祉

研究領域：臨床心理学、コミュニティ心理学、子どもの心理療法  
 担当科目：「心理臨床演習」「心理実践演習」「臨床心理実習Ⅱ」  
 「臨床心理学系(心理・地域)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：「コミュニティ心理学入門」(共著、ナカニヤ出版)、「よくわかるコミュニティ心理学」(共著、ミネルヴァ書房)、「医療・看護・福祉のための臨床心理学」(共著、培風館)他

学会活動：日本心理臨床学会、日本コミュニティ心理学会(副会長、編集委員)、日本学生相談学会、日本社会心理学会、日本心理学会

博士(文学)


**布川 日佐史** 教授 (ふかわ ひさし) 福祉社会 人間福祉

研究領域：公的扶助、社会保障、雇用政策  
 担当科目：※2018年度はサバティカル(研究専念年度)です。

主な著書：「生活保護の論点」(単著、山吹書房)、「現代の貧困と公的扶助」(共著、高書出版)、「雇用政策と公的扶助の交錯」(共著、御茶の水書房)、「就労支援」(共著、ミネルヴァ書房)、「Das letzte Netz sozialer Sicherung in der Bewahrung」Nomos Verlag, 2012(共著)

学会活動：貧困研究会代表、「貧困研究」編集委員

博士(文学)


**望月 聡** 教授 (もちづき さとし) 臨床心理学 人間福祉

研究領域：神経心理学、認知行動病理学  
 担当科目：「教育心理学特論」

主な著書：「臨床心理学研究法特論(18)」(共編著、放送大学教育振興会)、「スタンダード臨床心理学」(分担執筆、サイエンス社)、「高次脳機能障害Q & A 症候編」(分担執筆、新興医学出版社)、「心理学の「現在」がわかるブックガイド」(共著、実務教育出版)

学会活動：神経心理学会(評議員)、高次脳機能障害学会(代議員)、心理学会(代議員)、心理臨床学会、パーソナリティ心理学会(機関誌編集委員)、認知・行動療法学会、感情心理学会、応用心理学会

博士(学術)


**山本 五郎** 准教授 (やまもと ごろう) 福祉社会

研究領域：コーパス言語学、英語学、辞書学、英語教授法(TESOL)  
 担当科目：「原書講読研究」(2018年度非担当)

主な著書：「English on Screen: Learning Real English Through Erin Brockovich」(映画エリン・ブロコビッチ)で学ぶ実践英語の基礎」(共著、金星堂)、「Global Issues Towards Peace DVDで学ぶ共有社会—グローバル時代を考える」(共著、金星堂)、「見て学ぶアメリカ文化とイギリス文化」(共著、近代映画社)、「映画で学ぶ英語学—English Linguistics Through Movies」(共著、くろしお出版)、「名作映画完全リア集—Shane」(共著、フォーエクスプレッス/ライオン)、「Step Up With Movie English」(共著、金星堂)

学会活動：映画英語教育学会(支部役員)、英語コーパス学会、英語語法文法学会、大学英語教育学会、日本メディア英語学会、日本語学論学会

博士(学術)

# 福祉社会専攻

修士課程

Major in social services

本専攻では、一人ひとりのWell-beingの実現を支援することができる、高度専門職業人（ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、コミュニティ・プランナー等）と研究者の養成をめざします。カリキュラムは、専攻の基礎となる「専門共通科目」、ソーシャルワーク系、システム・マネジメント系、コミュニティ・デザイン系の3つの系からなる「専門展開科目」、修士論文の指導やフィールドワークを通して研究指導を行う「演習科目」によって構成されています。授業は基本的に木・金曜日（一部土曜日を含む）に行います。市ヶ谷キャンパスにて、夜間（月曜・火曜）に一部科目を開講し、さらに、長期履修制度を導入するなど、社会人の方にも学びやすい環境・制度を整えています。

## ≫ カリキュラム構成図（一部抜粋）

### 専門共通科目（4単位以上を選択）

福祉社会研究に共通する研究方法を学ぶ

- ・福祉社会研究法
- ・ソーシャルポリシー特論
- ・社会思想史研究
- ・データ分析法
- ・原書講読研究

※各科目すべて2単位

### 専門展開科目（14単位以上を選択）

現代の福祉社会の形成に関わる最先端の課題と理論を学ぶ

#### 【ソーシャルワーク系】

- ・ソーシャルワーク理論研究特論
- ・ソーシャルワーク実践研究特論
- ・生活問題特論

#### 【システム・マネジメント系】

- ・社会福祉学特論Ⅰ・Ⅱ
- ・保健医療福祉システム特論

#### 【コミュニティ・デザイン系】

- ・地域文化特論Ⅰ・Ⅱ
- ・地域空間学特論Ⅰ・Ⅱ
- ・地方自治特論Ⅰ・Ⅱ

※各科目すべて2単位

### 演習科目（すべて必修12単位）

個々の研究課題に沿って、修士論文に収めるよう個別指導を行う

- ・論文研究演習Ⅰ④
- ・論文研究演習Ⅱ④
- ・実践研究演習Ⅰ②
- ・実践研究演習Ⅱ②

※○数字は単位数

## ≫ 修士生の研究テーマ（抜粋）

- ・子ども・若者の「居場所」に関する研究 — 食事を通じた関りに着目して —
- ・医療・介護の視点から見た農村地域における地域包括ケアシステムの構築 — 在宅要介護高齢者への24時間ケア体制から —
- ・大都市における生活困窮者の生活支援と就労支援について — 「ふるさとの会」のケア付き就労を中心に —
- ・仮設住宅の収縮期における居住者の生活の現状とその支援のあり方 — 岩手県陸前高田市における調査を通して —
- ・大震災時の復興過程における知的障害者に対するソーシャルワークの役割と課題 — 陸前高田市のフィールドワークを通して —
- ・外国人に対する生活保護準用の不安定性 — 史的変遷からの考察 —
- ・要支援・要介護高齢者における訪問介護サービス利用の要因に関する研究
- ・都市の人口減少・高齢化地区における生活環境とコミュニティに関する研究 — 北九州市枝光一区を事例として —

## Message



### ▶ 教員

**水野 雅男** 教授  
研究領域：都市住宅政策論、市民活動運営論

あなたが生活している地域社会で、「なぜこういう問題が顕在化しているのだろうか?」「この公共サービスは受益者に効果的なのか?」といった問題意識を持っていませんか。そのような問題意識に対して、学術的なアプローチで研究論文として取りまとめ、政策改善への提言に昇華させませんか。本専攻には、多様な専門分野においてフィールドに根ざした研究に取り組む教授陣が揃っています。私たちと多面的な視点で議論する中で、あなたの問題意識を大切に実践的な研究を進める環境がここにあります。



### ▶ 在学生

**榎原 彩さん**  
2017年入学  
法政大学現代福祉学部

私は在宅で生活する知的障害者のソーシャルワークについて研究しています。脱施設化や地域移行がすすめられている今日において、本人の生活を支える家族との死別・離別により孤立状態に陥るケースが今後増大すると考えています。研究が思うように進まない時もありますが、先生方からの温かいご指導や同じ志を持つ仲間との出会いに励まされ、周りの支えに感謝する日々です。大学院は、自ら考え行動する力が身につく成長の場だと思います。学んだことを活かし、将来は障害福祉を牽引するような存在になりたいと考えています。



### ▶ 修了生

**室岡 康平さん**  
2014年修了  
愛媛県内子町役場  
総務課政策調整班 主事

農山村地域を目指す若者の存在に関心をもち、「農山村へ向かう若者の変容」というテーマで研究に取り組みました。当専攻科の魅力は、理論と実践を学ぶ環境が整っていることです。多彩な研究分野の先生方からのご指導や、地域という実践の場で多様な人と関わる機会が研究の礎となりました。現在、私は行政の立場からまちづくりに携わっていますが、大学院で学んだ物事を多面的に捉えようとする視点は、地域に適した政策を考える上で大いに役立っています。意志をもって地元へ帰郷した私にとって、貴重な2年間となりました。

### 仕事をしながら通学する先輩 VOICE!

仕事と研究を両立している社会人学生のインタビュー記事掲載サイトもあわせてご覧ください。



# 臨床心理学専攻

Major in clinical psychology

修士課程

公認心理師(国家資格)受験資格取得に要する科目を開講  
(財)日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院

近年頻発する児童や青年の事件で繰り返し指摘されるように、心のケアは社会全体において緊急の課題となっています。本専攻ではこうした社会的ニーズに応え、心のケアの専門家としての公認心理師と臨床心理士を養成します。また、心のケアは単に教育の領域にとどまらず、医療や福祉、司法・矯正、企業のメンタルヘルス、さらにはコミュニティの再生・創造の問題とも密接に関わっており、このような臨床心理学へのニーズの多様化・高度化に対応した高度職業人と研究者の養成をめざします。カリキュラムは、臨床心理学を学ぶための基幹を修得する「専門基幹科目」、それらをより深く展開するための科目と各論的に幅を広げる科目からなる「専門展開科目」、修士論文の指導を行う「研究指導科目」によって構成されています。

## ≫ カリキュラム・ツリー (一部抜粋)

### 専門基幹科目 (全て必修16単位)

臨床心理学全般の学習、カウンセリングや種々の臨床心理学査定法等について学ぶ

- ・ 臨床心理基礎実習②
- ・ 臨床心理学特論④
- ・ 心理支援に関する理論と実践②
- ・ 臨床心理面接特論Ⅱ②
- ・ 心理的アセスメントに関する理論と実践②
- ・ 臨床心理査定演習Ⅱ②
- ・ 心理実践実習①
- ・ 臨床心理実習Ⅰ①

※○数字は単位数

### 臨床心理相談室

来談者の受理面接、心理査定、心理面接を行う

### 専門展開科目 (14単位以上を選択)

専門基幹科目の学習と臨床心理実習をより深く展開するために専門基幹科目で学んだ土台を確かにし、各論的に幅を広げる

1. 研究法科目：臨床心理の基礎となる研究方法を学ぶ科目  
・ 心理学研究法特論・データ分析法・臨床心理学研究法特論
2. 基礎心理科目：臨床心理の基礎となる心理学科目  
・ 認知心理学特論・教育心理学特論・発達心理学特論
3. 家族・社会心理科目：家族や社会の心理的問題を探求する科目  
・ 社会病理学特論・家族心理学特論・司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開
4. 関連専門領域科目：臨床心理と深い関連を持つ専門分野の科目  
・ 保健医療分野に関する理論と支援の展開・福祉分野に関する理論と支援の展開・産業・労働分野に関する理論と支援の展開・児童福祉特論・高齢者福祉特論
5. 専門技能科目：臨床心理の専門技能を深く学ぶ科目  
・ 教育分野に関する理論と支援の展開・グループ・アプローチ特論・家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践  
・ 投影法特論・心の健康教育に関する理論と実践・力動的心理療法特論・比較心理療法特論・心理臨床演習・医療心理学特論

※科目は全て2単位

### 研究指導科目 (必修4単位)

個々の研究課題に沿って、修士論文に収めるよう個別指導を行う

- ・ 論文研究指導④

※○数字は単位数

## ≫ 修了生の研究テーマ (抜粋)

- ・ 自己受容と育児不安の関連について  
- 夫婦関係の観点から -
- ・ 内観療法における心理的変容のプロセス  
- 愛着スタイルを中心に -
- ・ 入院森田療法患者の体験分析
- ・ 青年期の発達  
- 子どもが両親から受ける影響の男女差 -
- ・ 外部EAP利用者における被援助行動を規定する要因
- ・ 大学生の恥意識についての研究  
- 対人恐怖心性と回避的傾向、及び心理的自立との関連から -
- ・ コラーージュを実施した際の効果とその男女間および性格傾向の差異
- ・ 自閉症スペクトラム児を持つ母親の障害受容  
- 障害受容促進要因に関する研究 -
- ・ 失恋からの回復過程の検討
- ・ twitter依存とメンタルヘルスとの関連について  
- 愛着と自己愛からの検討 -
- ・ 大学生アスリートにおける受傷体験と反すうの関連性
- ・ マインドフルネスが孤独感の低減に及ぼす効果  
- 孤独に対する捉え方に着目して -
- ・ 心理学的ストレスプロセスにおけるレジリエンスが持つ効果に関する研究

## Message



### ▶ 教員

久保田 幹子 教授

研究領域：臨床心理学、  
心理療法(森田療法、カウンセリングなど)、  
心理査定

主に不安障害の臨床に携わりつつ、不安障害の心理とその援助、女性の心理的危機と回復、森田療法と認知行動療法などの比較などについて研究をしています。臨床心理学専攻では、臨床心理学や精神医学を専門とし、第一線で活躍する教員が学生を指導しています。また、学内に設置された臨床心理相談室や学外の病院、クリニックなど、様々な臨床現場での実習を用意しており、より専門的・実践的な学びを得られることも特徴です。修士論文に向けての研究では、研究室の垣根を超えて、様々な分野の教員から指導を受けることが出来ます。学習意欲と積極性を持つ学生を期待しています。



### ▶ 在学生

室之園 みちる さん

2017年入学  
法政大学現代福祉学部  
臨床心理学科

私は家族関係特にその中でも個人が主観的に抱く家族イメージについて関心を抱き、家族イメージと誰もがもつと考えられる個人的特性、依存性等についての関連の研究を行っています。本学臨床心理学専攻は、様々な分野の先生の講義を受けることが出来、一つの専門分野に限らず幅広く学びを深めることが出来ます。講義内で互いに意見を出し合いながら、考えを深めそして自分を見つめる機会を得ることが出来るのは共に学ぶ仲間がいてこそ出来ることです。多摩キャンパスの自然に囲まれた中でこのびのびと、勉学に臨み、そして仲間と共に充実した時間を一緒に送りたい。



### ▶ 修了生

大岩 三恵 さん

2004年修了  
地方独立行政法人神奈川県立  
病院機構  
神奈川県立精神医療センター  
コメディカル部心理科科長

大学卒業後、発達心理学や家族関係に関心をもち、大学院に進学しました。本学臨床心理学専攻では研究室を超えて様々な分野の先生方から様々な視点を提供してもらっていることが特徴として挙げられ、臨床心理学という分野で生かすことのできる知識を得ることができたと感じています。大学院修了後は医療機関の心理士として、年齢・疾患とも幅広い患者様の援助に当たっています。臨床の現場では悩むことも多いですが、大学院で得た知識と現在でも相談に乗っていただける関係性に支えられて臨床活動を続けることができています。



# 人間福祉専攻

博士後期課程

Major in social services and clinical psychology

人間社会を構成する生活者のWell-beingを実現するためには、これまで積み重ねられてきた社会福祉実践の展開に加えて、「心のケア」から「コミュニティマネジメント」までを含んだトータルな実践が必要とされています。こうした総合的な人間福祉を実現するための理論研究は、21世紀の福祉社会を展望する上で重要な課題といえるでしょう。人間福祉専攻は、修士課程の教育研究をさらに発展させ、地域社会を基盤に人間の「生」(life)をトータルに捉え、新しい福祉社会の構築に関する研究者の養成をめざします。カリキュラムは、福祉・コミュニティ・臨床心理に関わる特殊研究・講義と人間福祉特別演習からなりますが、博士後期課程は科目を履修することが主目的ではなく、研究指導を受け博士論文をまとめることを目的としています。

## ≫ カリキュラム構成図 (一部抜粋)

### 必修科目

個々の研究課題に沿って、博士論文に取組むよう個別指導を行う

- ・ 人間福祉特別演習Ⅰ
- ・ 人間福祉特別演習Ⅱ
- ・ 人間福祉特別演習Ⅲ

※各科目すべて4単位

### 選択・必修科目 (8単位以上を選択)

各領域の重要かつ先端的な研究動向について学ぶ

- |              |               |                       |
|--------------|---------------|-----------------------|
| ・ 福祉政策系特殊講義Ⅰ | ・ 地域・政策系特殊講義Ⅰ | ・ 臨床心理系 (心理・地域) 特殊講義Ⅰ |
| ・ 福祉政策系特殊講義Ⅱ | ・ 地域・政策系特殊講義Ⅱ | ・ 臨床心理系 (心理・地域) 特殊講義Ⅱ |
| ・ 福祉社会系特殊講義Ⅰ | ・ 地域・文化系特殊講義Ⅰ | ・ 臨床心理系 (病理・発達) 特殊講義Ⅰ |
| ・ 福祉社会系特殊講義Ⅱ | ・ 地域・文化系特殊講義Ⅱ | ・ 臨床心理系 (病理・発達) 特殊講義Ⅱ |
| ・ 福祉臨床系特殊講義Ⅰ |               |                       |
| ・ 福祉臨床系特殊講義Ⅱ |               |                       |

※各科目すべて2単位

## ≫ 修了生の研究テーマ (抜粋)

- ・ 近現代における遺跡保護とその担い手に関する研究 —制度・政策と地域社会の動向をふまえて—
- ・ アメリカ大都市における包括的コミュニティ開発の形成と課題
- ・ 構造拘束的な体験様式と心理的距離に関する研究
- ・ 教師のメンタルヘルス規定因とバーンアウトに関する多角的研究 —教師Well-being尺度の作成—
- ・ 教育相談群と病院群の思春期の子どもと母親の比較研究 —子どもの精神・行動症状と母親の対象関係を中心に—
- ・ ソーシャルワーカーの自己生成過程における専門的自己の構築と解体 —中動態から生起する臨床体験—
- ・ 地域主義にもとづく文化財保存と活用に関する研究 —文化財を核としたコミュニティの生成と活動を視野に—
- ・ 地域特性に応じた介護保険事業の効率性についての実証的研究

## Message



### ▶ 教員

眞保 智子 教授

研究領域：若者支援論、  
人的資源管理論、  
障害者のキャリアデザイン

現代社会の諸問題の完全な解決への道は平坦ではありません。生 (life) や well-being の概念の質を高める「実践で得た知」を理論と深淵な価値観とを統合し考察することがその第一歩と考えます。本専攻では、さまざま学術的関心とテーマから現代社会の諸問題に迫ろうとする方々に対し、各指導教員が手厚い研究指導・助言を行っています。研究は新たな知の発見／挑戦であり、そのプロセスは苦しくとも楽しいものです。学術的な成果からだけでなく、専門性を持った実践の現場で社会貢献に寄与する方々を教員一同お待ちしております。



### ▶ 在学生

小田 友理恵 さん

2017年入学  
臨床心理士

臨床心理学における実践と科学の関係について研究を行っています。質問紙による量的調査とインタビューによる質的調査を、組み合わせて調査をする予定です。このテーマでの研究に際し、臨床と研究のどちらにも精通した先生方がいらっしゃる本学に進学しました。経験に裏打ちされた、広く深い視点からのご指導をいただいております。良い研究をするためにも臨床の研鑽が大切だと教わり、カウンセリング業務に励んでいます。また、本学には充実した施設と研究助成制度があり、大変恵まれた環境で研究させていただいています。



### ▶ 修了生

高沢 佳司 さん

2016年修了 愛知学泉短期  
大学幼児教育学科 講師

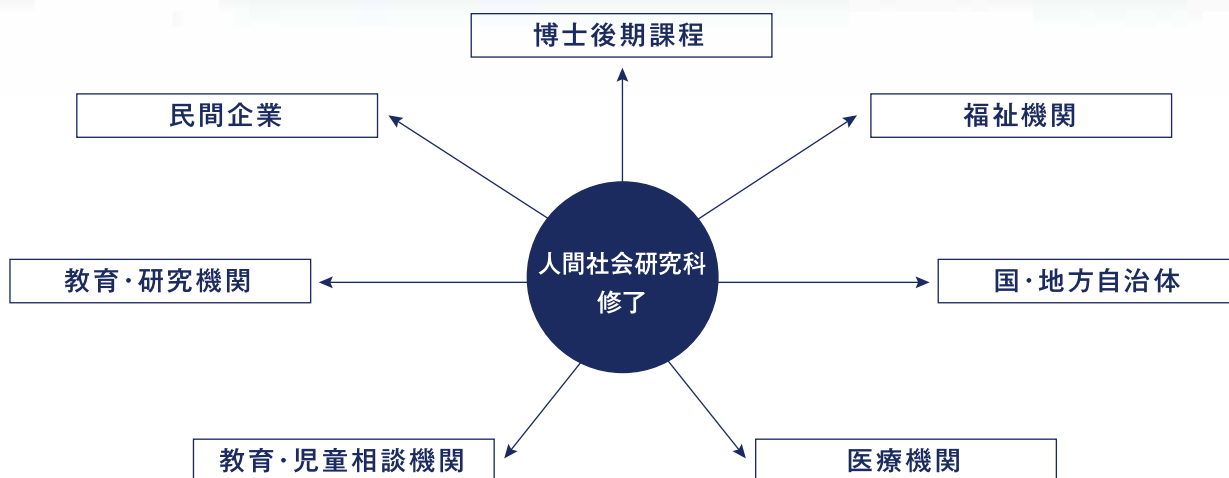
体験過程理論の変数である体験様式の研究を行い、心理的距離との関連性について博士論文にまとめました。現在は短期大学の講師として、発達心理学等の科目を担当しています。在学中は、少人数のゼミで様々な議論を交わし、研究者としての研鑽を積みました。特に、研究の組み立てやロジックの整理、研究結果の効果的な呈示方法についてスキルが向上しました。修了後も、在学中の繋がりによって研究・実践活動の場が広がっています。今後は関心領域の理論的展開や、現場で活用できるツールの発信を行っていきたくと考えています。

# 修了者の進路

修了した方々は大学院での豊かな経験を活かし、様々な進路をとっています。

また、働きながら研究活動を行い、研究の成果を業務に活かされている方もいます。近年の主な進路先をまとめました。

大学院での研究活動を活かして未来の道を拓きませんか？



## 修了後の進路 (過去13年間分)

### 福祉社会専攻 ◎修士課程

・福祉機関	13名	・団体職員	4名
・民間企業	14名	・社会人入学で修了後も在職	22名
・進学(博士後期課程ほか)	11名	・その他	20名
・公務員	3名	・研究生	4名
・独立行政法人	1名	・教員	1名

### 臨床心理学専攻 ◎修士課程 「臨床心理士」資格取得者 2004~2016年度修了生 184名受験 176名合格

・医療機関(心理職)	55名	・団体職員	6名
・医療機関	3名	・民間企業(心理職・総合職)	9名
・教育相談機関(心理職)	33名	・児童福祉相談所関係(心理職)	16名
・スクールカウンセラー	11名	・進学(博士後期課程ほか)	6名
・福祉機関(心理職)	16名	・大学学生相談室	3名
・公務員(含む心理職)	25名	・その他	7名

### 人間福祉専攻(学位取得者29名) ◎博士後期課程

・私立大学教員	15名	・医療機関(福祉職)	1名
・国立大学教員	1名	・教員	1名
・私立大学研究員	4名	・公務員	5名
・独立行政法人研究員	1名	・団体職員	1名

※継続在職も含む

## キャンパス紹介



◀臨床心理学専攻の学生が臨床心理士をめざし実習を行う施設です。面接室2つ、プレイセラピー室3つ、グループ療法室1つを備えた充実した環境で、臨床心理士の資格を持ったカウンセラーによる指導が行われます。

